

JAFSAとは？

NPO法人JAFSA(国際教育交流協議会)は、1968年に設立され、2003年に特定非営利活動法人(NPO)法人格を取得した非営利団体です。大学・教育機関・企業など約320の団体をメンバーとした、国際教育交流分野では日本唯一・最大のネットワーク組織です。日本の大学のグローバル化促進を支援し、人材育成、海外とのネットワーキングなどの事業を展開しています。

JAFSAの活動は主に国際交流に直接携わる大学メンバーが実施しています。また、政府系機関、在日海外公館、各種教育機関、企業(ソーシャルビジネスパートナー(SBP))などさまざまなジャンルの機関から構成され、国際教育交流に深く関わっています。今や高等教育のグローバル戦略において、大学のみならずオールジャパンとして取り組まなければならない状況となっています。



団体正会員
大学・高専数

230校以上



在日海外公館
各種教育関連団体

約50団体



賛助会員
(SBP)

約50企業



海外フェアへの
年間出展団体

約80団体



メーリングリスト読者数
(団体正会員・SBP)

5,000以上



来日する留学生の
所属大学カバー率

約90%



国内年間イベント
(研修・セミナー)

30回以上

会員種別	年会費 『大学・高専』学生数(学部・大学院合計)	
団体正会員 (大学、高専、日本語学校等の学校・ 教育機関、国際教育交流に関わる 非営利団体(財団法人、社団法人、 NPO、NGOなど))	20,000名以上	¥200,000
	10,000～19,999名	¥150,000
	1,000～9,999名	¥120,000
	500～999名	¥100,000
	500名未満	¥60,000
	日本語学校、専修学校	¥50,000
団体賛助会員 (国際教育交流に関わる企業)	在日公館、海外大学、教育機関	¥100,000
	プラチナ会員	¥500,000
	シルバー会員	¥300,000
	スタンダード会員	¥100,000

※年会費は「年度締め」で、毎年「4月1日から翌年3月末日まで」の1年間です。年度途中のご入会でも、割引や月額払いはありません。

特定非営利活動法人JAFSA(国際教育交流協議会)
URL: <https://www.jafsa.org>



デザイン・編集: 株式会社太平社 (JAFSA 賛助会員)

JAFSA
Japan Network for International Education

特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

団体・事業案内

Diversity, Dynamics, Development

2026年8月発行

事業(1)：グローバルネットワーキング

海外フェア(海外諸団体の年次大会)でのブース展開・
セッション発信のトータルオーガナイズで、
日本の大学をプロモートし、
国内外の団体・機関の連携を推進します

JAFSAは、世界各国の国際教育交流団体との連携を図るとともにNAFSA、EAIE、APAIEの3大海外フェアへ参加しています。海外フェアでは、世界各地の国際教育関係者が集い、提携の促進、担当者の研修・育成、ネットワーキング強化などを目的としたさまざまなイベントが実施されます。またブースを出展している大学・機関のブランド力を高め、大学間同士・国際関係担当者同士が顔を合わせて活発に打ち合わせを展開するのが大きな特徴です。



NAFSA

(2027年大会：米国・ロサンゼルス市にて開催予定)

米国の国際教育交流NPOで、1948年に設立されました。JAFSAは長年にわたり協力関係にあります。毎年5月末に開催される年次大会には、世界各国から約7,000名が参加します。JAFSAは2008年度より、日本合同ブース“STUDY in JAPAN”を取りまとめ、年次大会に出展しています。ブース出展に加え、2011年度からは文部科学省と連携し、日本の高等教育の現況や大学間交流プロジェクトを紹介するセッションにも継続的に登壇しています。また、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)とともにNAFSA上位会員である“Global Navigator”として、日本の高等教育のプロモーションに貢献しています。2026年オーランド大会では、22大学、2団体、3企業が出展しました。

「情報交換会」の開催

日本合同ブースへの出展大学・団体や、日本の大学関係者を中心に、賛助会員との共催により情報交換会を開催しています。毎回約80～100名の国際交流担当者が一堂に会し、大学間のネットワーク構築や情報交換を行う貴重な機会となっています。

EAIE

(2027年大会：ポルトガル・リスボン市にて開催予定)

欧州の国際教育交流NPOで、1988年に設立されました。毎年9月中旬に欧州のいずれかの都市で年次大会が開催され、世界各国から約7,000名が参加する、ヨーロッパ最大級の国際教育交流コンベンションです。JAFSAは、NAFSA年次大会と同様に、日本合同ブース“STUDY in JAPAN”を取りまとめ、年次大会に出展しています。2026年スコットランド・グラスゴー大会では、16大学、1団体が出展します。

「資料展示」参加

予算や人員体制などの理由で日本合同ブースへの出展が難しい大学を対象に、各大学の特色や推進するプログラムを紹介する資料展示の機会を設けています。展示資料をきっかけに、海外大学とのオンライン面談や協定締結につなげることを目的としています。

APAIE

(2027年大会：マレーシア・クアラルンプールにて開催予定)

アジア太平洋地域の国際教育交流NPOで、2004年に設立されました。毎年2～3月に開催される年次大会には、アジア地域を中心に約3,500名が参加しています。JAFSAは2013年度より、日本合同ブース“STUDY in JAPAN”を取りまとめ、年次大会に出展しています。2026年香港大会では、16大学、1団体、1日本語学校、2企業が出展しました。また、JAFSA団体正会員大学を対象に「JAFSA海外教育フェア参加奨励金」制度を設け、若手大学職員のAPAIE年次大会への参加を支援しています。

事業(2)：人材育成



国際交流業務に携わる方に向け、
研修・セミナーの企画・運営を行っています



国際教育交流の現状に合わせて、特に会員大学の職員を対象にした研修を実施しています。人気の高い「初任者研修」は大学内で異動の多い春期・秋期を中心に実施しています。ブリティッシュ・カウンシル共催の「実践英語研修」は基礎的な内容から中上級レベルまで間口の広いコースを実施して好評を得ています。その他にも、レベル別・テーマ別でさまざまな内容の研修を実施しています。また、時事に応じたテーマのセミナーも定期的に開催しています。



JAFSA主催 研修プログラム 『初任者・多文化共修・ 国際マネジメント』

主催研修の定番ともいえる「初任者研修」の他、レベル別・テーマ別でさまざまな内容の研修を実施しています。いずれも経験豊富な講師を迎え、講義とグループワークを通じて必要な知識と実践力を身に付けることができます。他大学・教育機関の担当者や情報交換ができ、人脈形成に大きく役立ちます。

2026年度

- 初任者研修
第1回：6/18-6/19
第2回：7/9(対面)
第3回：7/10(対面)
実施済。以降10/22-10/23、
12/10-12/11に実施予定。
- 多文化共修
時期未定(対面)
- 大学国際化マネジメント研修
12/18-12/19実施予定(対面)

ブリティッシュ・カウンシル共催 『実践英語研修(全6回)』

英語を使用したビジネス対応力のスキルアップを図るもので、大学の国際担当職員を対象としています。英語でのグループワークが中心で、学内・留学生とのやり取りや協定校との交渉など現場に即したシーンを想定しており、実践的な内容になっています。英語教授法の資格と第一言語に準ずる英語力を持った講師が教え、コミュニケーション・アプローチ法を使用します。

2026年度

- 第1回：5/21 “Introductory Business English”
- 第2回：7/2 “Supporting students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone”
いずれもオンラインで実施済。
以降7/23、10/15、11/12、12/3に実施予定。

JAFSA主催・共催・協力 セミナー・イベント

国際教育交流におけるニーズは幅広く、常に変化しています。そのようなニーズに対応したテーマをもとに、JAFSAではウェビナーやワークショップ、また他団体と協同でセミナーを開催しています。

2026年度

- 特別ウェビナー
定期的に開催
- 海外フェア振り返りウェビナー
5/18「APAIE2026 香港大会振り返りウェビナー」
- 共催イベント
6/12「東北大学の改革と国際化戦略」(JCSOS共催)
7/2「駐日ジョージア大使が語る国際交流の意義と海外留学の重要性」(JCSOS共催)
7/3「第2回 中国四国地区 大学・大学生協 留学セミナー」(大学生協中国・四国事業連合共催)
- 広報協力
5/12「留学生募集の多様化によるリスク軽減と持続可能な成長：単一市場への依存からの脱却を目指して」(ICEF GmbH主催)